

みせ
よう つちやしんじ

土屋真嗣 幼年 7級

「み」のまがるところやハネがじょうずにできている。「せ」のかたちもうまくかけた。おおきくつばなみせができたね。

南北
四年 二段 増田莉奈

増田莉奈 小4 2段

名前もふくめてキリツとした直線が目を引き。全ての線の場所や長さを正しく書いているので字の形が美しく整っている。

科学と
志用
中二 筒井千代

筒井千代 中2 準6

筆の上下動を上手く使い、次の画へと進んでいく流れが見える。その中で線の太い所や強い直線が効果的で安定感がある。

みせ
一年 うね山さき

うね山さき 小1 5級

ななめのせんやたてのせんがふとく、ちからづよいので字がしっかりとれている。二文字とも大きさとかたちがとてもいい。

光の世界の
五年 陽香

吉田陽香 小5 準4

線の強さ、筆づかいが素晴らしい。この文字の大きさでもきちんとうまく収めた。「光の世界」がどこまでも広がっていく。

科学と
志用
中三 藤谷和奏

藤谷和奏 中3 7段

ゆったりとした一定のリズムで最後まで書き進めた。一つ一つの画を丁寧に書き、筆先まで集中力が通っているのがわかる。

ばい
なけ
小二 知照

皆上知照 小2 1級

画から画へのつながりを大事にしている。すっきりした線と、ととのった字形から、うつくしさとおちつきをかんじる作ひん。

表情
六年 石山萌愛

石山萌愛 小6 4段

構えが良く、うでを大きく動かすことで、縦、横の線はすどく勢いがあり、左右のハイやハネはのびやかに書けている。

馬
三年 中村愛音

中村愛音 小3 準初

とくに大きく書いたわけではないのに線の強さやいきおいにより、今にも力強くかっこよく走りそうな馬を表現できた。

三角
規定
中一 笠井みのり

笠井みのり 中1 5段

線の太細の違いを巧みに使い分けているので四文字のバランスが良い。長さや角度にも心配りがあり全ての文字が美しい。

二月十五日締め切り

最優秀作品

金子高遠選評

